

成果指標				
成果指標	各勤務評定記録の合計点数／人数×10項目×4点×100			
指標設定の考え方	年1回、各校長監理のもと作成される勤務評定(10項目・各4点満点)について、ALT全員が全項目満点となることを目標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	1	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	親しみやすいALTが殆どで、日常から異文化認識を含めた、英会話での気軽な交流が図れるよう工夫が必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	新規1人を含む計5人のALTを配置し、本市における「英語教育」の充実を図ることができた。今後も「自治体国際化協会」の斡旋により「英語指導補助」として高い資質を持つ職員の確保に努めていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題